

6.14 代々木～6.15 法大包围闘争に大きな結集！！

「国鉄1047名解雇撤回！労働者派遣法撤廃！改憲阻止！麻生内閣打倒！」を掲げて全国労働者総決起集会が6月14日、代々木公園B地区で開かれ、全国から2100人の労働者・農民・学生が集まりました。続く15日、全国から1200人の労働者・学生・市民が法政大学を包围し、「監獄大学」を徹底糾弾する集会とデモをやり抜きました。

基調報告で、「クライスラー、GMが破綻し、資本主義体制は崩れ去ろうとしています。全世界の労働者が人間として生きられなくなっています。求められているのはこの社会の根本的変革です。労働者自身にこの社会を変える力がある。いま全世界で、支配階級と労働者・学生とが力と力で衝突しています。これが時代の基調です。歴史選択が問われる時代です。負けたら戦争です。この課題を受けて立ち、労働者の力を信じ、団結を広げて闘いに立ち上がろう！」とアピールされました。

なお、14日には社会文化会館にて「憲法第9条改定を許さない6・14全国集会」も開催。裏面に参加報告があります。

被爆64周年「8・6ヒロシマ大行動」参加と賛同のお願い

“全世界の労働者・民衆の団結で核と戦争をなくそう！”をメインスローガンに今年も8・6ヒロシマ大行動が実施されます。実行委員会のピラをご覧ください。多くの皆さんの参加と賛同をよろしくお願いします。

8・6ヒロシマ参加ご希望の方は、事務局（ ）までお知らせください。参加券をお渡します。

緊急カンパのご協力ありがとうございました…さらなるご協力を！！

6月号で本部財政を何とかたてなおすためにと緊急カンパ、賛同金更新などお願いしましたところ、次々のご送金をいただいています。6/15現在(たった半月です)緊急カンパ、更新賛同金、前倒しの賛同金など総額000000円の大金が寄せられました。ほかに直接本部へ送金された方もいらっしゃいます。本当にありがとうございます。心から感謝いたします。月末にはまとめて緊急カンパの全額と賛同金の半額を本部に送ります。詳しい報告は次号で行います。全国通信の会計報告を見ると4月の赤字は00万円。さらに増えています。もっともっと多くの皆様からのご送金を、さらにさらにお願います。

8・6ヒロシマがまためぐって来ました。事務局としましてはまた8・6ヒロシマカンパをお願いしなければなりません。ヒロシマカンパの振込用紙を同封しますが、緊急カンパもヒロシマカンパもということは何とも申し訳なく、どちらかで結構ですので、緊急カンパを送ってくださった方はどうぞ破棄してください。

千葉県連絡会 会計報告(09.3月～09.5月)

(省略)

署名数 6/12 現在

▼9条を変えるな！19,212筆(+164) ▼裁判員制度反対1,212筆(+138) ▼星野さん再審・釈放268筆
▼“もんじゅ”反対62筆 ▼児ポ法改悪反対23筆
▼辺野古新基地阻止76筆

街頭宣伝署名(5/24～6/12)

日時	場所	人数	9条	裁判員	星野	ピラ
計	6回	23	164	138	5	1520

7月の予定 (省略)

【報告】第4回裁判員制度はいらない！千葉県実行委員会 12名参加(内初参加者4名)

●これからの行動予定“活動は継続、制度を廃止へ！”

- ① 対象事件千葉地裁第1回公判日、千葉地裁前に集い抗議の声をあげる。千葉駅前抗議チラシ配布。
- ② 実行委員各自、地元での街宣。
- ③ 近郊での実行委員会街宣。成田(7月)、五井(8月)
- ④ 第2回候補者通知の届く11月下旬頃大集会開催。
- ⑤ 駆け込み寺的な相談所設置について。

◎投稿

5/24 雨の幕張海浜公園アースデイに参加

10:00～16:00までの長丁場を8名(内、昼まで参加が2名)で楽しく頑張りました。

土砂降りの雨の中、皆でブーステントの設営、署名台の設置をし、「裁判員制度はいらない！千葉県実行委

員会」の横断幕を貼りました。

会場は、歌あり楽器演奏あり踊りあり、また本場アフリカさながらの種々パーカッションの音が鳴り止まず、私たちは終始ステップを踏みながらのチラシ配りでした。

チラシ約600枚、署名46筆でした。 (I)

憲法第9条改定を許さない6・14全国集会

6月14日(日)、東京・三宅坂の社会文化会館では「憲法第9条改定を許さない6・14全国集会」(「9条改憲阻止の会」などによる)が、550名の参加で開催されました。

講演では伊藤成彦さん(中大名誉教授)が、総務省が作成した国民投票法の広報パンフは違憲であると厳しく断罪。諸外国でも憲法の根幹に触れる改定を禁じている例を引きながら、日本国憲法の平和主義を否定するような改憲論議は許されないと強調しました。その他、アラブの「カーヌーン」やピアノ演奏に、「派遣村」の報告として全国ユニオンの安部誠さん、「日の丸・君が代」強制と闘う増田都子さん、沖縄・読谷村から知花昌一さん、さらに横須賀原子力空母反対や反原発、東京大空襲訴訟原告団からの発言…などなど、盛りだくさんのメニューでした。

集会後のデモでは、警官が隊列に割り込んできて、竹馬に乗った青年に降りよう強要するという信じられない妨害を仕掛けてきましたが、参加者の抗議によりはねのけ、日比谷公園までのデモを貫徹。こちらの集会・デモには、関西の「百万」から多くの仲間が参加していました。(R)

「道州制」は「究極の構造改革」

「道州制」は一言でいって、「戦争と改憲、民営化、労働組合の破壊」を目的とする労働者への攻撃です。それは「究極の構造改革」=資本の最後の延命策としてあり、大恐慌の中で破綻をしている、新自由主義の最後の攻撃としてあります。

民営化し資本の利潤追求にとって都合の良い形に国と地方のあり方を変えてしまおうというものです。その核心は、公務員360万人を一旦全員解雇した上で選別再雇用し、自治労や日教組など労働組合をつぶすことに目的があります。これは同時に全労働者の大量首切りを目的にしているのです。この様な資本の攻撃に対し、「道州制」を阻止していく闘いが必要となっています。

労働者と共に闘っていきましょう。(N)

※連載「沖縄を知る」は、紙幅の都合上、続きは来月号に掲載します。どうかご了承ください。